区議会レポート 62号

葛飾区議会議員
かわごえ誠一

本号の内容
表面：令和２年第一回定例会について
裏面：タウンミーティング報告

2020年2月7日発行

発行
かつしか区民連合
【区議会控室】 〒124-0012
東京都葛飾区立石5-13-1
電話 03-3695-1111（代）
ｆａｘ 03-3697-0137

令和２年区議会第一回定例会開会へ

◆第一回定例会開会

◆２月17日から３月27日までの40日間の会期で令和２年葛飾区議会第一回定例会が開催されます。今定例会では新たに（仮称）新金貨物線旅客化整備基金条例が上程され、10億円の基金が補正予算として計上されています。これは、将来新金線の旅客化を想定し、整備に必用とされる資金を今から積み立てておくためとなります。これにより内外に新金線実現に向けての葛飾区の「やる気」を示したいとのことです。今定例会ではこの基金を含む令和元年度（平成31年度）第四次補正予算案86億6千３百万円が計上され、各常任委員会で審議されます。

◆令和２年度予算案公表

◆２月６日に令和２年度一般会計当初予算2,049億１千万円が発表されました。初めて２千億円を越え過去最大の当初予算となっています。これは歳入において、納税義務者数の増加が大きな要因になっているとのことですが、今後消費税増税の影響やオリンピック・パラリンピック後の経済動向、法人住民税一部国税化など先行きが見えない状況は変わらず、堅実な財政運営が求められます。◆この予算案ではゼロエミッションをはじめSDGsの取り組み、災害対策の避難所へのゴムボート配備や防災士資格取得助成、アートイベントへの助成、オープンファクトリーへの支援、不登校対策での校内適応教室増設、児童相談所の開設準備、風疹予防接種の全額助成、多文化共生の通訳ボランティアの地域行事派遣などが盛り込まれました。◆新年度予算案は定例会開会後に設置される予算審査特別委員会にて審議される予定です。かわごえは予算審査特別委員会の総括質疑に登壇する予定です。質問内容等は次号以降でご報告させていただきます。

◆新型コロナウイルス感染症専用相談電話の設置について◆

◆新型コロナウイルスが各地に広がっています。葛飾区でも２月５日に区民からの相談のための専用相談電話を設置しました。
名称：新型コロナウイルス感染症相談電話　　設置場所：健康プラザかつしか内
開設時間：午前８時30分から午後５時１５分（平日のみ）　**◆電話番号０３（３６０２）１３９９**
※なお土日祝夜間午後９時までの相談は厚生労働省０３（３５９５）２２８５・東京都０３（５３２０）４５０９まで

■ かわごえ誠一連絡先 ■
〒124-0012 葛飾区立石8-47-18
携帯電話 090-2932-7315
e-mail：info@kawagoeseiichi.com

かわごえ誠一オフィシャルサイト
www.kawagoeseiichi.com
日々の活動はFacebookをご覧ください。

かわごえ誠一プロフィール

●昭和38年3月川崎市生まれ ●東海大学第二工学部建設工学科卒 ●立石在住31年 ●一男二女の父親 ●保育園/学童保育クラブ父母会, 小中学校ＰＴＡ, おやじの会, 図書館友の会, 子育てネットワーク, 保田しおさい学校, 三番瀬保全活動などに携わる。●元東京工業大学附属科学技術高校非常勤講師 ●本田消防団第四分団員 ●葛飾区ボッチャ協会会長 ●元都議会議員伊藤まさき秘書を経て平成25年区議会議員選挙で初当選・平成29年二期目当選 ●区議会所属：文教委員会・副委員長／地域活性化・区民サービス向上対策特別委員会／広報委員会

かわごえ誠一タウンミーティング・学習会「今、ひきこもりについて考える」報告

◆1 月 31 日 (金) の夜にかつしかシンフォニーヒルズにおいて、かわごえ誠一タウンミーティング・学習会「今、ひきこもりを考える」を開催したところ、月末にもかかわらず多くの方にご参加いただき、感謝いたします。

◆タウンミーティングの会場風景

◆冒頭、かわごえが子ども若者支援の活動をしてきた経緯の報告をしました。2001 年から保田養護学校 PTA 活動の他、子ども・若者の参画の活動に関わり、その後、葛飾区において子育てネットワークや子ども若者応援ネットワークの立ち上げに携わってきました。それらの経験を元に、初当選直後の 2013 年第四回定例会の一般質問において「困難を抱えた子ども・若者の支援について」を取り上げ、当初の打ち合せで若者支援というカテゴリーはないと言われた状況からスタートし、現在の葛飾区での若者支援につなげてきた流れを報告しました。

◆次に育て上げネットの蟇田（ひきた）薫さんから「ひきこもり～社会とつながれない背景と支援～」と題し、基調講演をしていただきました。ひきこもりは、不登校や就労でのつまずきなど様々な背景があります。家庭が孤立し、社会とつながらない社会的行方不明者状態から、親の高齢化や、病気などの問題が発生して初めて表面化することが問題となっています。ひきこもりは様々なつまずきで自己肯定感が低く、周囲から「こうあるべき」という理想を押し付けるのではなく、まず、本人と周囲がひきこもっている現状を認め、安心できる環境をつくることが大切とのことです。本人が外の社会とつながれない状況では、家族が第三者とつながることが重要で、そこから支援につながる一歩となります。そのために、社会として「ひきこもり」について理解をし、相談しやすい環境をつくる必要があるとのことに共感しました。

◆次にトカネットの藤原宏美さんから、不登校・ひきこもりの訪問サポートの活動をご紹介していただきました。トカネットは 20 年以上、大学生を中心にした「メンタルフレンド」による、不登校やひきこもりの家庭への訪問サポートを続け、「友だち体験」を築く活動を進めているとのことです。また、訪問の次のステップとして気軽に参加できる居場所づくりなど、ひきこもる若者が社会とつながるための取り組みについてうかがいました。

◆最後に葛飾区の取り組みとして子ども応援課の伊藤課長から葛飾区の若者支援の取り組みについてご報告いただきました。葛飾区の若者支援は 2018 年に子ども応援課の設置からはじまり、同年子ども・若者支援地域協議会が設置されました。2019 年 3 月には子ども・若者計画の策定、10 月から若者相談窓口がスタートしました。少しずつですが、葛飾区の若者支援が進みつつあります。

◆ひきこもり支援は 8050 問題といわれる高齢化をはじめ、取り組まなければならないことは山積しています。ひきこもりなど若者支援は早期に発見し、早期に支援に結びつけることが重要で、早期の支援が将来への社会投資になることを理解し、まず、多くの皆さんに現状を知ってもらうことから進めていきたいと思います。

◆タウンミーティングで進行をするかわごえ

かわごえ誠一ミニ学習会のご案内

1テーマ　「聴こえ」について考える

～難聴などの対話支援システム「comuoon」体験

と　き　2020 年 **2** 月 **25** 日 (火) 10:00～

ところ　LD サポート療育　ソラアル PIA（ぴあ）
葛飾区亀有 5-27-8　SKY-BLD　201 号室

講　師　中石真一路さん
NPO 日本ユニバーサル・サウンドデザイン協会理事長

◆難聴など方の対話を支援する「comuoon」を体験しながら、「聴こえ」の大切さについてうかがいます。

2テーマ　学校図書館の最新の情勢

～新学習指導要領と学校図書館

と　き　2020 年 **3** 月 **24** 日 (火) 18:30～

ところ　かつしかシンフォニーヒルズ別館 2f チェリー
葛飾区立石 6-33-1

講　師　森田盛行さん
NPO 学校図書館実践活動研究会理事長

◆新指導要領では学校図書館の重要性が増しています。最新情勢を伺いながら葛飾の学校図書館について考えます。

※今回は会場の定員に限りがありますので事前にお申し込み下さい。→　info@kawagoeseiichi.com